

都市計画道路中 3・4・3 号国道線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・3	国道線	小松市一針町	小松市矢田野町	小松市平面町 上小松町 符津町	約 12,060 m	地表式	4車線	20m	幹線道路と平面交差 12箇所	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

## 理由

3・4・3 号国道線は、小松市街地を中心とした南加賀地域の物流や生活を支え、災害時には国道 8 号などととも第一緊急輸送道路として位置付けられている主要幹線道路であり、昭和 40 年に都市計画決定された路線である。

このうち小松市北部に位置する長田南交差点は、本路線と北陸自動車道小松インターと加賀産業開発道路を結ぶ主要幹線道路である 3・4・7 号小松インター八里線が交差し、朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生するとともに、交通事故も多く発生している交差点である。

本路線の現状は、片側 1 車線の 2 車線道路であり、交差点部には右折車線を備えているが、交通量が多いことや、右折滞留長の不足が渋滞の原因となっている。

今般、本路線の円滑な交通を確保するため、長田南交差点を 4 車線にて拡幅することとしているが、現状の都市計画決定(W=20m)では、右折車線が確保されていないことから、右折車線に必要な幅員を追加することとした。

これにより、延長約 380m の区間において幅員を 20m から 22m に変更するものである。